

# 令和6年度

## 議会事務局の方針書

組織名	議会事務局
所属長名	菅原 ゆかり

### 1. 組織の使命(ありたい姿)

「議会力」が十分に発揮されるよう、常に議会の活性化、充実及び発展を心掛け、行動し、議員の向こうにいる市民のための仕事をする。

※議会力(地方自治体としての意思決定、執行機関の監視・評価、議会側からの政策提案など)

### 2. 組織の抱える課題(現状)

- ・議会基本条例の目標実現に向け、議会・議事運営を検証。通年議会導入実現のための支援。
- ・各常任委員会の調査研究及び政策形成過程における審査、協議のための支援。
- ・市民に開かれた議会と市民参加の推進。市民と議会の懇談会の活性化策。
- ・議会運営事務及び議会の政策立案機能を支援するための調査・事例研究、知識の習得、対応力の向上。

### 3. 今年度の『スローガン』

円滑な議会運営につながる業務改善をすすめよう！

### 4. 今年度の方針

- ①議事機関としての機能強化と不断の議会改革及び、正確かつ円滑な議会運営の推進
- ②情報収集・情報発信の充実とより開かれた議会
- ③議会事務局職員の資質と運営能力の向上

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	議事機関としての機能強化と不断の議会改革及び、正確かつ円滑な議会運営の推進
	取組内容	・議会基本条例の検証による改善と議会機能の向上を図る。 ・議会審議の充実及び常任委員会所管事務調査等協議の活発化を支援。 ・タブレット端末を活用したオンライン会議の検証と先進事例等の研究・調査による運用支援。 ・通年議会導入の方向性に基づき、議会内・当局との調整等を実施。
(2)	実現したい成果	情報収集・情報発信の充実とより開かれた議会
	取組内容	・市民と議会の懇談会など広聴活動の積極的な展開への支援。 ・ゲストティーチャーなどの主権者教育への支援。 ・議会だより、かまくらFMの情報番組などの広報活動の充実。
(3)	実現したい成果	議会事務局職員の資質と運営能力の向上
	取組内容	・他議会の事例研究や過去の議会運営を検証して、効率的かつスムーズな議会運営の実施。 ・不測の事態に最大最適の対応ができるよう、法令や議会慣行などの専門知識の修得や各種研修会への参加により、自らの研鑽に努める。 ・慣習的な事務の見直しにより、事務局の負担軽減と機能強化につなげる。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)議事機関としての機能強化と不断の議会改革及び、正確かつ円滑な議会運営の推進
- ①会議等開催状況
- ・4月臨時会(4/19)、6月定例会(5/27-6/13)、9月定例会(8/26-9/20)
  - ・全員協議会(協議会1回、議案説明5回、行政課題6回)、議会運営委員会11回、常任委員会協議会(厚生2回、産業建設2回、総務文教3回)、広報広聴委員会(広報分科会9回、議会だよりモニター会議1回)
  - ・そのほか(議員特別研修6件、会派視察1件、行政視察受入れ12件)
  - ・決議(4月臨時会 1件)、意見書(6月定例会 2件)など
- ②議会機能の強化
- ・議会改革推進会議4回開催。横手市議会議会基本条例に基づく活動評価チェックシートを使った課題出しと評価を実施。
  - ・委員会協議会、全員協議会(行政課題説明会)案件の在り方を検討。
  - ・ICTプロジェクトチーム会議1回開催。タブレット端末の更新方針について協議を実施。
- (2)情報収集・情報発信の充実とより開かれた議会
- ①広報広聴活動
- ・議会だより発行2回、議会だよりモニター会議(7/31)、かまくらFM番組12回(月2回第2・4月曜日放送)
- (3)議会事務局職員の資質と運営能力の向上
- ①議会運営の研究
- ・予算決算委員会において企業会計、特別会計の説明を省略し、議事運営の効率化を図った。
  - ・会議後に振り返りを行い、課題改善に取り組んでいる。
- ②研修等
- ・秋田県市議会事務局職員研修会へ参加(2名)
  - ・自治体議会特別セミナーin横手へ参加(3名)

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)議事機関としての機能強化と不断の議会改革及び、正確かつ円滑な議会運営の推進
- ・委員会協議会、全員協議会(行政課題説明会)が頻繁に開催されており、重要度に関わらず案件となっているものや議案上程予定の案件が事前に説明・協議されている状況があることから、見直しと改善が必要。
  - ・委員会における説明・質疑応答等に偏りがあるため、改善が必要。
- ⇒(方針)先進他市の事例を学び、関係部署と協議をしていく。
- (2)情報収集・情報発信の充実とより開かれた議会
- ・市民と議会の懇談会の活発化。
  - ・議会だより編集作業の改善と市民にわかりやすい紙面づくり
- ⇒(方針)懇談会開催について引き続き周知を図る。議会だよりモニターの意見を参考にし、市民にわかりやすい表現方法を取り入れる。
- (3)議会事務局職員の資質と運営能力の向上
- ⇒(方針)慣習的に行っている事務の見直しを行う。会議後に振り返りを行いながら検証し、改善を図っていく。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)議事機関としての機能強化と不断の議会改革及び、正確かつ円滑な議会運営の推進
- ・常任委員会等の行政視察、所管事務調査等の協議が活発化され、質疑や議論の充実につながっている。
- 視察先参考:総務文教(10/8-10福岡県朝倉市、うきは市、北九州市)、産業建設(10/15-17長崎県佐世保市、長崎市、大村市)、厚生(10/15-17愛知県東海市、大府市)、議会改革推進委員会(1/14-15神奈川県横須賀市)
- ・頻繁に開催されていた常任委員会協議会、全員協議会(行政課題説明会)案件の見直しと改善を実施。協議を必要とする案件(議員(委員)の意見を反映しておきたい案件)を基本とし、委員長が判断することにより、効率的かつ協議の充実が図られている。
  - ・タブレット端末を活用した災害時の安否確認・情報共有訓練を実施した。また、ICTプロジェクトチームによるDX推進(生成AI等活用)に係る市の取り組みについて勉強会を行い、議員15名が参加した。
- 【課題】・R5年度に通年会期制導入の方針を決定したが、当局との調整等が進んでいないことから、引き続き協議していく。
- ・全員協議会(行政課題説明会)の開催日がコロナ禍で多くなり令和3年度は18回、今年度は14回開催していることから関係部署と協議し、効率的かつ集中して協議を行うことができるよう整理が必要。
- (2)情報収集・情報発信の充実とより開かれた議会
- ・議会だよりモニター会議で出された意見を反映した紙面構成により、市民にとってわかりやすい議会だよりの発行につながっている。
  - ・市民に対しより開かれた議会であるために、市民と議会の懇談会の募集を行ったが実施には至らなかった。
- 【課題】広聴活動の積極的な情報発信と事業展開が必要。
- (3)議会事務局職員の資質と運営能力の向上
- ・他自治体との合同研修会へ積極的に参加し情報交換を行ったことにより、議会運営の知見を深め、対応力向上が図られた。
  - ・慣習的な事務の見直しを行い、効率的かつスムーズな議会運営につながっている。
- 【課題】職員個々の能力向上はもとより、事務局の対応力強化に引き続き努めるとともに、不測の事態に最大最適の対応ができるよう、日頃から調査、事例研究、研修会等への参加により自己研鑽に取り組む。